

(11) 館林市議会だより (令和4年11月1日)

たてばやし

市議会だより

第220号

市民の皆さまへお願い♥
手洗いや咳エチケットを徹底し
引き続き「3密」を避けるように
してください。
新型コロナウイルス/ILU/感染症情報はこちら↓



編集：館林市議会報編集委員会



令和4年10月17日撮影

10月11日に初議会が開かれ
市議会の構成が決まりました

主な掲載記事

- 初議会のあらまし 2～3ページ
- 9月議会のあらまし 4～5ページ
- 決算特別委員会 5～6ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 ... 6ページ
- 一般質問(9人) 7～11ページ
- 常任委員会の審査報告 12ページ



館林市議会ホームページ
<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/ll/gikikai/index.html>

初議会のあらまし

任期満了に伴う市議会議員選挙が9月25日に行われ、当選された18名の議員により10月11日に初議会(第2回臨時会)が開かれ、市議会の新しい構成が決まりました。

まず、本会議の冒頭、正・副議長の選挙が行われ、議長に権田昌弘議員、副議長に渋谷理津子議員が当選いたしました。

就任のごあいさつ

市議会議長 権田昌弘
市議会副議長 渋谷理津子

市議会初議会において、議員各位のご推挙により私達が市議会の正・副議長に就任いたしました。その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

もとより浅学非才の身でありますが、初心にかえり市民の皆様の声を公平公正に反映させ、民主的で開かれた市議会運営に努めてまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申しあげます。就任のごあいさついたします。



渋谷 副議長



権田 議長

監査委員に

遠藤重吉議員

▽監査委員の選任について
市の監査委員の定数は2人ですが、そのうち1人は議員のうちから議会の同意を得て選任されることになっており、議会選出の監査委員として、遠藤重吉議員が同意されました。

各種委員の選出

市議会改選後の初議会において、提出された議案や請願等を専門的に審査する各常任委員会の委員をはじめ、議会運営をスムーズに行うため、議会の会期や議事の進め方、請願や陳情等の取扱いについて協議する議会運営委員や議会活動の一環として「たてばやし市議会だより」を編集発行する議会報編集委員が各会派から選出されました。

また、一部事務組合等議会議員、群馬東部水道企業団議会議員及び群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員についても、初議会において、選挙が行われました。

各委員会の紹介

◎委員長 ○副委員長

総務文教常任委員会(6人)

政策企画部、総務部、出納室及び教育委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会に属さない事項

- ◎平井 玲子 ○岡野 陽子
- 岩上 博志 権田 昌弘
- 斉藤 貢一 吉野 高史

市民福祉常任委員会(6人)

市民環境部及び保健福祉部の所管に属する事項

- ◎柴田 信 ○堀口きく枝
- 小林 但弥 飯島 一志
- 田辺 純子 遠藤 重吉

経済建設常任委員会(6人)

経済部、農業委員会及び都市建設部の所管に属する事項

- ◎川村 幸人 ○池森のり子
- 野本 泰生 渋谷理津子
- 篠木 正明 野村 晴三

議会運営委員会(7人)

議会の円滑かつ適正な運営を期すため、議会運営について協議し、意見調整を図ります。

- ◎野村 晴三 ○平井 玲子
- 岡野 陽子 野本 泰生
- 柴田 信 川村 幸人
- 篠木 正明

議会報編集委員会(7人)

定例会ごとに発行する、市議会だよりの編集作業等を行います。

- ◎岩上 博志 ○飯島 一志
- 池森のり子 堀口きく枝
- 田辺 純子 平井 玲子
- 野村 晴三

☆常任委員会とは、議案などを専門的かつ能率的に審議するために、部門ごとに議案等を審査する常設の委員会のことです。(館林市議会では、3つの常任委員会を設置しています。)

市議会会派 一覧表

○代表者

| 名 称 | 議 員 名 |
|----------------|--|
| 緑水クラブ | ○野村 晴三 小林 但弥 岩上 博志 野本 泰生 柴田 信 渋谷理津子 権田 昌弘 遠藤 重吉 |
| 公明党 | ○平井 玲子 堀口さく枝 |
| 日本共産党 館林市議団 | ○篠木 正明 田辺 純子 |
| 一心会 | ○川村 幸人 飯島 一志 |
| 未来クラブ | ○岡野 陽子 池森のり子 |
| 無会派 | 斉藤 貢一 吉野 高史 |

一部事務組合等・広域連合 議会議員一覧表

| 名 称 | 議 員 名 |
|------------------------|----------------------------|
| 邑楽館林医療 企業団議会議員 | 小林 但弥 篠木 正明 吉野 高史 遠藤 重吉 |
| 館林衛生施設組 合議会議員 | 岩上 博志 田辺 純子 柴田 信 野村 晴三 |
| 館林地区消防組 合議会議員 | 飯島 一志 野本 泰生 斉藤 貢一 |
| 群馬東部水道企業 団議会議員 | 川村 幸人 権田 昌弘 |
| 群馬県後期高齢者医療 広域連合議会議員 | 権田 昌弘 |

市議会議員名簿

(議席順)

| 議席 番号 | 氏 名 | 住 所 | 電話番号 | 議席 番号 | 氏 名 | 住 所 | 電話番号 |
|----------|-------|----------------------------------|---------------|----------|-------|----------------------|---------------|
| 1 | 小林 但弥 | 成島町 411 番地の 42 | 73-8740 | 10 | 平井 玲子 | 松沼町 26 番 13 号 | 74-2423 |
| 2 | 池森のり子 | 成島町 427 番地の 1 | 080-9395-9736 | 11 | 川村 幸人 | つつじ町 11 番 5 号 | 51-8045 |
| 3 | 飯島 一志 | 大島町 1536 番地 | 77-0008 | 12 | 渋谷理津子 | 当郷町 1980 番地の 2 | 51-8063 |
| 4 | 岡野 陽子 | 苗木町 1761 番地の 13 | 70-7333 | 13 | 権田 昌弘 | 日向町 970 番地の 32 | 72-9958 |
| 5 | 堀口さく枝 | 富士原町 1166 番地 の 2 | 090-7546-0714 | 14 | 斉藤 貢一 | 分福町 1000 番地の 35 | 73-0863 |
| 6 | 岩上 博志 | 青柳町 993 番地の 6 | 78-7393 | 15 | 篠木 正明 | 松原三丁目 6 番地 の 13 | 73-9615 |
| 7 | 野本 泰生 | 緑町二丁目 14 番 16 号 セントラルパークビル 3F | 72-6141 | 16 | 吉野 高史 | 赤生田町 1699 番地 の 1 | 080-7973-8399 |
| 8 | 田辺 純子 | 成島町 939 番地の 5 | 74-6401 | 17 | 遠藤 重吉 | 赤生田本町 1432 番 地の 2 | 73-8650 |
| 9 | 柴田 信 | 仲町 5 番 20 号 | 090-4543-3402 | 18 | 野村 晴三 | 成島町 688 番地の 1 | 72-1354 |

議員個人の賛否結果一覧表 (第2回臨時会)

| 議案名 | 議席番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 結果 |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | |
| 議員名 | 小林 但弥 | 池森のり子 | 飯島 一志 | 岡野 陽子 | 堀口さく枝 | 岩上 博志 | 野本 泰生 | 田辺 純子 | 柴田 信 | 平井 玲子 | 川村 幸人 | 渋谷理津子 | 権田 昌弘 | 斉藤 貢一 | 篠木 正明 | 吉野 高史 | 遠藤 重吉 | 野村 晴三 | |
| 議案第51号 監査委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 除 | ○ | 同意 |

※権田昌弘議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対 除：除斥】

除斥とは：議案と一定の利害関係を有する議員は、審議の際に議場から退出することとなっています。

スマートフォンやタブレットからも視聴できます！

市議会のHPをぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html> 市議会トップページ➡



←ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>

なお、各議員の質問の様子は、「二次元コード」を読み取るとご覧いただけます。

会議録の検索はこちら➡

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。



9月議会のあらまし

令和4年館林市議会第3回定例会は、8月29日から9月13日までの16日間の会期で開かれました。
この定例会に市長から提案された議案等は、追加議案も含め議案12件、報告1件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、認定、可決されました。

人事案件

▽固定資産評価審査委員会委員の選任について
固定資産評価審査委員会委員の

石原英樹さん(新宿二丁目)

の任期が、本年9月15日をもって満了となるが、引き続き選任したいとして、地方税法の規定により、議会に対し同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

▽教育委員会委員の任命について
教育委員会委員の

猪熊妙子さん(若宮町)の任期が、本年10月8日をもって満了となることから、新たに栗原昇さん(朝日町)を任命したいとして、

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会に対し同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

条例の改正

▽館林市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正等による育児休業の取得回数制限の緩和に伴い、所要の措置を講じたため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市手数料条例の一部を改正する条例
建築基準法及び長期優良住宅の普及の促進に関する法律の一部改正に伴い、生じた項ずれを改めるほか、建築行為を伴わない既存住宅の長期優良住宅認定制度の創設等に伴い、その認定に係る手数料の取扱いについて定めるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員等共済組合法の一部

改正により、本年10月1日から、被用者保険の適用対象である非常勤職員が群馬県市町村職員共済組合員となり、短期給付等が適用されることに伴い、貯金及び貸付償還金に係る費用等を報酬等から控除することができるようになるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市手数料条例の一部を改正する条例
建築基準法及び長期優良住宅の普及の促進に関する法律の一部改正に伴い、生じた項ずれを改めるほか、建築行為を伴わない既存住宅の長期優良住宅認定制度の創設等に伴い、その認定に係る手数料の取扱いについて定めるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽市道7205号線ほか5路線の路線廃止について
旧松沼町第3住宅用地の売却に当たり、用地内に存す

その他の議案

▽市道7205号線ほか5路線の路線廃止について
旧松沼町第3住宅用地の売却に当たり、用地内に存す

る6路線を廃止しようとするもので、道路法の規定により、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

補正予算

▽令和4年度館林市一般会計補正予算(第3号)
2億1898万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ301億9365万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和4年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号)
1118万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ71億2740万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

追加議案

▽令和4年度館林市一般会計補正予算(第4号)
2億1622万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ304億987万6000円とするもので、全員一致で可決され

報告

ました。

▽令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく判断指標において、まず、実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支が黒字であるため赤字比率はなく、次に、実質公債費比率は5.3%、将来負担比率は87.1%であり、また、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額がないため資金不足比率はなく、全ての指標において、国の判断基準以下の数値となっていたとの報告がありました。

令和3年度決算

▽令和3年度館林市歳入歳出決算の認定について
一般会計の決算の概要は、最終予算額338億5191万6968円に対し、歳入決算額は338億6752万923円で、予算に対

する収入率は100・05%です。また、歳出決算額は311億5478万9214円で、その執行率は92・03%となり、歳入歳出差引残額は27億1273万1709円となります。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源3455万6000円を差し引いた実質収支額は、26億7817万5709円で、このうち21億円を財政調整基金に、1億円を職員退職手当基金に積立てし、翌年度へ繰り越すべき財源を含む5億1273万1709円を、翌年度へ繰り越しました。

特別会計の決算は、国民健康保険特別会計が、歳入78億6977万934円、歳出76億1331万7611円。介護保険特別会計が、歳入68億3587万6853円、歳出65億7859万9037円。後期高齢者医療特別会計が、歳入9億8743万7172円、歳出9億6098万3530円で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。

日本共産党館林市議団から反対討論が、緑水クラブから賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

▽令和3年度館林市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてⅡ令和3年度の未処分利益剰余金については、1億3944万1360円のうち、1億1000万円を減債積立金に積み立て、2758万4000円を資本金に組み入れ、残額を翌年度に繰り越すことについて、地方公営企業法第32条第2項の規定により、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽令和3年度館林市下水道事業会計決算の認定についてⅡ収益的収支においては、収入額15億2981万9930円、支出額14億36万9946円で、消費税調整後の損益計算書上の純利益は1億352万7806円となり、資本的収支においては、収入額6億1013万4470円、支出額11億4

382万5276円で、不足額5億3369万806円については、損益勘定留保資金等で補ったもので、採決の結果、全員一致で認定されました。

その他

▽合併調査特別委員会の間報告Ⅱ本会議最終日、こ

れまでの調査研究等の経過や結果について、また、館林市・板倉町合併協議会の休止が無期限で延長されたことに伴い、本委員会についても、令和4年9月30日をもって、一旦、調査期間が終了となる旨の報告が、合併調査特別委員長からありました。

決算特別委員会

8月31日の本会議で、議員全員による決算特別委員会が設置され、6日から8日までの3日間にわたり審査が行われました。

採決の結果、議案第45号 令和3年度館林市歳入歳出決算の認定については賛成多数により、議案第47号 令和3年度館林市下水道事業会計決算の認定については全員一致をもって、それぞれ原案のとおり認定すべきものと議決されました。また、議案第46号 令和3年度館林市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分については全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

主な新規事業

○まちひとしごと創生推進事業

本市の人口減少を抑制し、定住人口の増加及びまちな

かの活性化を図るため、移住促進まちなか新築住宅取得支援金を創設した。

○福祉医療費助成事業

子育て支援を推進するため、高校生世代の入院医療費に

対する助成制度を創設した。

○観光事業

館林駅前観光案内所を館林駅東口から館林東西駅前広場連絡通路内に移設した。

○小学校施設整備事業

第五小学校屋内運動場大規模改修工事及び第七小学校トイレ改修工事を実施した。

○中学校施設整備事業

第三中学校普通教室棟外壁改修工事及び全校の特別教室空調設備設置工事を実施した。

○文化会館施設整備事業

会館棟の空調設備改修工事及び照明のLED化改修工事を実施した。

○給食センター運営

子育て世帯における保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境の充実と少子化対策の推進を図るため、第3子以降学校給食費助成金を創設した。

主な継続事業

○日本遺産推進事業

館林市「日本遺産」推進協議会が実施する普及啓発事業等に対する支援を行った。

○金券発行事業
市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付し、地域経済の活性化を図った。

○産業団地造成事業
産業団地の造成を進めるため、概略設計や調査を実施した。

○幹線排水路整備事業
準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から令和6年度までの21か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事56・4mを実施した。

○中央通り線道路改良事業
平成28年度から令和11年度までの14か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地492・37㎡の取得と20件の補償を実施した。

○土地区画整理事業
・西部第一南地区
昭和61年度から令和10年度までの43か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部一号線築造工事122・5m、西部二号線歩道築造工事212・5m等を実施した。

令和3年度 館林市歳入歳出決算総括表

(単位：円)

| 会計別 | 区分 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出 差引残額 |
|------|---------|----------------|----------------|---------------|
| 一 | 般 会 計 | 33,867,520,923 | 31,154,789,214 | 2,712,731,709 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 7,869,770,934 | 7,613,317,611 | 256,453,323 |
| | 介護保険 | 6,835,876,853 | 6,578,599,037 | 257,277,816 |
| | 後期高齢者医療 | 987,437,172 | 960,983,530 | 26,453,642 |
| 下水道 | 収益的収支 | 1,529,819,930 | 1,400,369,946 | 129,449,984 |
| | 資本的収支 | 610,134,470 | 1,143,825,276 | △533,690,806 |

・西部第一中地区
平成元年度から令和9年度までの39か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事96・1m等を実施した。

・西部第二地区
平成11年度から令和14年度までの34か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事56・7m、西部二号線側溝布設工事107・1m、10戸22棟の建物移転等を実施した。

議員個人の賛否結果一覧表 (第3回定例会)

| 議案名 | 議席番号 議員名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 結果 |
|---|-------------|------|-----|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-------|-----|-----|
| | | 松本隆志 | 柴田信 | 平井玲子 | 今野郷士 | 川村幸人 | 斉藤晋一 | 森田武雄 | 渋谷理津子 | 権田昌弘 | 櫻井正廣 | 斉藤貢一 | 篠木正明 | 吉野高史 | 遠藤重吉 | 野村晴三 | 向井誠 | 井野口勝則 | 小林信 | |
| 議案第39号 固定資産評価審査委員会委員の選任について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 議案第40号 教育委員会委員の任命について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 議案第41号 館林市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 原案決 |
| 議案第42号 館林市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 原案決 |
| 議案第43号 館林市手数料条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 原案決 |
| 議案第44号 市道7205号線ほか5路線の路線廃止について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 原案決 |
| 議案第45号 令和3年度館林市歳入歳出決算の認定について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ● | 認定 |
| 議案第46号 令和3年度館林市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 原案決 |
| 議案第47号 令和3年度館林市下水道事業会計決算の認定について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 議案第48号 令和4年度館林市一般会計補正予算(第3号) | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 原案決 |
| 議案第49号 令和4年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号) | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 原案決 |
| 議案第50号 令和4年度館林市一般会計補正予算(第4号) | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 原案決 |

※野村晴三議長は採決に加わりませんので、「—」となっております。

【○：賛成 ●：反対 欠：欠席】

一般質問

今定例会における一般質問は、9月1日・2日の2日間にわたり行われ、9人の議員が市政全般に関する諸問題について市の所信をただしました。内容は広範にわたっておりますので、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

市政を問う!!

権田 昌弘 議員 (7ページ)
○本市の子育て支援策について

向井 誠 議員 (8ページ)
○リトルベビーハンドブックについて
○サニタリーボックスについて
○公立学校の老朽化について

松本 隆志 議員 (8ページ)
○物価高騰に対する事業者支援の方向性について
○発達障がい者に対する支援の取組について

森田 武雄 議員 (9ページ)
○本市の部活動の現状について
○教職員の部活動指導の現状について
○本市の部活動参加に係る保護者の経済的な負担軽減について
○休日の部活動の地域移行について

平井 玲子 議員 (9ページ)
○障害者手帳アプリ「ミライロID」の導入について
○不妊治療と仕事の両立支援について

齊藤 貢一 議員 (10ページ)
○まちづくりへの課題について

篠木 正明 議員 (10ページ)
○茂林寺前駅西側地区の住環境整備について

吉野 高史 議員 (11ページ)
○市長就任から1年5か月が経過したが、見えてきた多くの課題と一向に見えてこないビジョンについて

小林 信 議員 (11ページ)
○190回目最後の一般質問、館林市のまちづくりビジョンについて

※一般質問通告書の質問事項を掲載



本市の子育て支援策について

権田 昌弘 議員



質問 市長の言う「投資」とは、具体的にどこに投資するのか。

答弁 ハード面では、産業団地の新規造成等により、税込確保、雇用の創出を促進し、ソフト面では、「こども局」の設置、そのほか、スポーツ環境の整備を進めることも投資の一つです。

質問 子どもたちへの支援が、市全体に拡がるという考えはあるのか。

答弁 そういった投資を今後とも検討していきます。
質問 支援をする上での所得制限に関する考えは。
答弁 子どもをはじめ、障がい者、高齢者など、「人によさしい」施策が展開で

きるよう、精力的な「投資」を検討していきます。

質問 給食費について、段階的に無料化を進めるとの考えも理解しています。中学生という枠組みでの無料化を進めることがよいと思えますが、どう考えるのか。

答弁 無料化を拡大することとは、将来の館林を担う子どもへの投資とも言えます。いくつかの枠組みにおいて検討し、無料化に伴う事務負担や財源の課題など精査していきます。

質問 危険箇所の改修ができれば、利用価値が上がりが、大会誘致や経済効果も得られると思うが、城沼陸上競技場の改修について、どう考えるのか。

答弁 まずは、緑石部分の段差解消などに向けて取り組んでいきます。
質問 今年度より設置する「制服検討委員会」の現状はどうなっているのか。
答弁 生産メーカーや紳士服メーカー等から情報収集を行うとともに、本市すべ

での中学生へアンケート調査を実施し、保護者の負担軽減も視野に入れ、慎重に協議していきます。

質問 部活動「地域移行」による保護者の金銭的負担について、どう考えるのか。
答弁 保護者の経済的な負担軽減を念頭に、部活動の地域移行について、十分に調査・研究していきます。





リトルベビーハンドブック・ サニタリーボックスと学校の老朽化

向井 誠議員



リトルベビーハンドブック

質問 リトルベビーについての認識は。

答弁 出生体重1500g

未満の小さく生まれた赤ちゃんを表現する言葉であると認識しています。

質問 現在の母子健康手帳

はどうなっているのか。

答弁 母子健康手帳は正期

産で生まれた赤ちゃんを想定しており、リトルベビーの保護者にとっては、身長

や体重を記入しようとする目盛りがなく、また、成長を記録する欄にも記入するところがありません。

質問 リトルベビーの保護者の方も記入できるハンド

ブック作成の考えは。



物価高騰に対する事業者支援、 発達障がい者に対する支援の取組について

松本 隆志議員



物価高に對する事業者支援

質問 物価高騰の影響を受けた事業者の経営環境等の状況について伺います。

答弁 幅広い業種で被害が生じており、約9割の事業者が景気回復の実感がないと回答、5割超の業者が、今後売上減少の見込みです。

質問 地域の実情に応じた

支援を講じる目的で、物価高騰対策の臨時交付金が支出されますが、支援策の方向性について伺います。

答弁 適切なタイミングと波及効果が重要で、いち早い対応が必要な場合は一律の支援金を、高い効果を追求する場合は、二次三次的な波及効果が生じる支援策

を策定します。ただし、実態把握、予算確保、事業設計、申請受付、支援実行と流れを踏む必要があり、早急な対応が課題と考えます。

要望 国や県と連携し、事業者の実情を踏まえた効果的な支援策をお願いします。

質問 3歳児までの検診で、乳幼児発達相談につなげた方々への支援を含め、本市の発達障がいに関する取組について伺います。

答弁 早期発見と課題解決

も使用済みのおむつや尿漏れパッドを廃棄するサニタリーボックスの設置が求められていますが、本市での対応をお尋ねします。



サニタリーボックス

質問 前立腺癌や膀胱癌の手術を受けた男性は頻尿や尿漏れが起きやすく、尿漏れパッドを使用することが多くあり、男性用トイレで

公立学校の老朽化について

については、積極的に検討していきます。設置時期については、今年度の予算残額を見込めるならば今年度中に、予算が厳しいようであれば来年度に対応していきたいと考えています。

答弁 男性用トイレへのサニタリーボックスの設置については、積極的に検討していきます。設置時期については、今年度の予算残額を見込めるならば今年度中に、予算が厳しいようであれば来年度に対応していきたいと考えています。

法のスキル向上を学習する人材育成、ぽんぽんキッズ等の保護者支援、市民講演会等の啓発活動の3つの支援を行っています。

質問 「ぽんぽんキッズ」の事業について伺います。

答弁 発達障がい早期発達支援の事業です。自閉スペクトラム症の確定診断を受けた3歳までのお子さんには社会性に対する支援を、その保護者にはコミュニケーション方法を一緒に考える支援を行っています。

質問 継続した支援として障がい児通所支援がありますが、現状はいかがですか。

答弁 市内に児童発達支援事業所は9事業所、放課後デイサービスは12事業所あります。平成30年には利用希望者に対し事業所数が不足していましたが、現状は十分な支援が提供されているものと認識しています。

要望 発達障がい児の早期発見、早期支援に努めていただき、個性が尊重される地域づくりをお願いします。

文科省の調査で公立学校の7割以上で必要な改修が行われていないことが分かったようですが、本市における現状は。

本市の公立学校は90棟の建築物があり、代表的なものとして屋根や外壁の劣化による雨漏りが挙げられます。教育委員会では向こう5年間の中期改修計画を策定しており、莫大な費用も要することから、国の交付金や県と協議しながら改善に努力していきます。



本市の部活動の現状について

森田 武雄 議員



質問 本市の中学校で設置している運動部、文化部の種類と、その加入状況について伺います。

答弁 運動部は13競技、文化部は3部が設置されており、運動部には75・5%、文化部には17・3%が加入しています。また、未加入者は7・2%となります。

質問 本市において、合同チームはどのようなものがあるのか伺います。

答弁 ソフトボール部、野球部が合同チームを編成、活動しています。

質問 中体連未加入の団体等について伺います。

答弁 硬式野球、サッカー、バスケットのクラブチーム、

ラグビー、レスリング、バレー等があります。

質問 教職員の部活動指導の現状として、顧問を担当している割合と、競技経験の有無について伺います。

答弁 117名の教諭が部活動の顧問、副顧問を担当しています。担当部の競技歴のある教諭は60名、そうでない教諭は57名です。

質問 部活動の活動時間について伺います。

答弁 休養日は、平日1日と土日のいずれかを含む週

2日以上とし、平日の活動は2時間程度の方針です。

質問 部活動指導員や部活動外部指導者の活用状況について伺います。

答弁 部活動指導員については4名の方に、部活動外部指導者については7名の方に、ご協力をいただいています。

質問 部活動の参加に係る保護者の経済的負担軽減について伺います。

答弁 教育扶助における学習支援費、就学援助費にお

けるクラブ活動費として、支援を行っています。

質問 休日の部活動の地域移行について伺います。

答弁 国は、令和5年度から3年間を目途に、休日の部活動の地域移行推進を示しています。本市の現状は、調査の段階で、学校教育課、スポーツ振興課、文化振興課との意見交換を実施していきます。また、県教育委員会から講師を招き、研修会の実施など実情に応じた方向性を見出ししていきます。



障害者手帳アプリ導入と不妊治療と仕事の両立支援について

平井 玲子 議員



障害者手帳アプリ導入

質問 障害者手帳の交付数をお尋ねします。

答弁 令和4年3月末現在、3645人の方に交付しています。

質問 デジタル障害者手帳アプリ「ミライロID」についての認識は。

答弁 ミライロID株式会

社と契約が必要です。費用負担はありません。使用できる施設は公共交通機関のほか、有料道路、飲食店など全国3575か所に及んでいます。

要望 マイナンバーとの連携も開始され、個人情報に関する安全性も図られています。現在、マイナポ

ータルと連携されたミライロIDに限り、本人確認書類として、紙の手帳と同等の扱いをする自治体も増えて

おります。障害者手帳アプリ「ミライロID」導入と、マイナンバーカードを交付する際には、ミライロIDの設定の支援も合わせて、要望とします。

質問 本市職員における不妊治療のための休暇の整備状況についてお尋ねします。

答弁 令和4年1月1日より、国家公務員に準じて、新設しています。

要望 会計年度任用職員も含めた職員が仕事を続けながら、安心して不妊治療を

受けられるよう、今後とも不妊治療と仕事の両立を実現できる職場づくりを着実に推進してください。そして、多くの民間企業においても導入が進むことを期待



©KOMETTO



観光・スポーツ振興について問う

齊藤 貢一 議員



質問 平成元年以来、茂林寺周辺観光振興策は時が止まっています。平成26年には、茂林寺周辺観光地化促進事業の検討結果が出されたが、その後の進捗状況は。

ジェクトの見直しと民間活力の導入を検討します。

質問 多額の事業費が必要なことから結果として事業に結びつきませんでした。茂林寺誘客100万人プロ

質問 検討、研究は聞き飽きました。いつまでに、どのような過程を経て、結論を報告しますという言葉を聞き取った。つつじが岡公園については、入園料の無料化を含め提案してまいりましたが、有料入園の範

質問 以前に観光部局とスポーツ部局を一体とした観光スポーツ部局を作るべきと提案しましたが、観光協会法人化を検討研究してい

ら整備となつています。

質問 駅前側の区域は、広場内の道路と側溝を整備することと駅の改札口を設置することで進めてきたが、いつ完了する予定なのか。

質問 駅前側の区域は、広場内の道路と側溝を整備することと駅の改札口を設置することで進めてきたが、いつ完了する予定なのか。

質問 道路や排水路の整備について南北の道路が1本か2本、東西の道路が最低1本必要で道路整備に合わせる排水路整備を行うとの答弁がありました。関東学園グラウンド西側の道路は改善されましたが、今後の計画はどうなっているのか。

質問 歩道橋を造る考えは。

質問 歩道橋を造り、次の段階で橋上駅とするの提案だと思いますが、無駄がないようにしなければならぬと考えています。

質問 道路や排水路の整備について南北の道路が1本か2本、東西の道路が最低1本必要で道路整備に合わせる排水路整備を行うとの答弁がありました。関東学園グラウンド西側の道路は改善されましたが、今後の計画はどうなっているのか。

質問 本年度から整備が完了した北側、線路までの区間の道路・排水計画を策定し、事業の延伸を図っていきたく考えています。また、宮田2号幹線排水路の進入路を道路として南北に接続したい。東西道路は今後、検討しなければならぬと考えています。

質問 事業完了までの冠水対策はどう行うのか。



茂林寺前駅西側地区の住環境整備について

篠木 正明 議員



質問 この問題について、私が初めて取り上げたのが、平成21年12月議会でした。その時の答弁は、道路や排水路の整備は区画整理以外の手法での整備に切り替えていくとのことでした。その後、どのような整備を行ってきたのか。

関東学園グラウンド西側の道路のクラック解消と拡幅を行いました。冠水対策としては、宮田2号幹線排水路の改修です。排水路に沿って用地買収を行い、工事車両の進入路を確保しながら

質問 暫定的に東西を結ぶ

中、相乗効果としての現状の考えは。

質問 市内の7市で、市長部局に配置されており、観光自体どの分野との連携が効果的なのか調査研究していきます。

質問 スポーツ施設の維持管理には「賢く使う」とよくお話しされます。近隣町との施設のシェアリングや多目的な使用方法を考慮してのことだと思えますが、陸上競技場、城沼野球場など、公式なグラウンドでは

質問 市民プールも老朽化が進み、場合によっては、学校プールの代替えとしての使い方も一部検討に入っている状況です。

質問 市民プールも老朽化が進み、場合によっては、学校プールの代替えとしての使い方も一部検討に入っている状況です。

質問 素掘りの排水路は浚渫等で冠水対策を行いたいと考えています。

質問 素掘りの排水路は浚渫等で冠水対策を行いたいと考えています。

質問 素掘りの排水路は浚渫等で冠水対策を行いたいと考えています。

質問 素掘りの排水路は浚渫等で冠水対策を行いたいと考えています。



本市の方向性 財政状況について

吉野 高史 議員



質問 本市の方向性をいつまでにどうするのかということが見えてこない。板倉

トラックに、野球場はプロ野球の試合ができるようにするなどの方向性は。

町との合併を進めるために給食費を無料にし、その先

答弁 分野ごとに現状と課題を整理し、施策目的の達成に取り組んでいます。

には東洋大跡地に市庁舎を移転させ、駅名を「新館林市役所前」に、こうしたビジョンを打ち出すべきでは。城沼陸上競技場はタータン

質問 北部第三工業団地では5億円を返却した。タータントラックは5億円でできる。問題の課題は具体的

にどう進めるのか。

答弁 空き家の活用など継続して問題解決に取り組み必要があります。

質問 若い妊婦さんは母親の元で産みたいのに、「里帰り出産」ができないのだが。

答弁 喫緊の課題であり、速やかに解決しなければいけないと認識しています。

質問 経常収支比率は何度も議会でも取り上げているが、高止まり状態だ。35自治体中29位で12市では何位か。

答弁 12市中10位です。

質問 給食費について、太田市では来年度から幼稚園・保育園・小中学校で無料になるが、どう思っているか。

答弁 現状、第一子からの給食費無料化は難しく、課題を精査したいと考えます。

質問 一般会計300億円の1%、給食費3億円の財政出動が出来ないのか。

答弁 少し時間を頂きたい。

質問 将来負担比率とは。

答弁 収入に対して将来負担する借金の割合です。

質問 子どもや孫の世代まで

で借金の返済を押し付けている。県内の順位は。

答弁 35自治体中35位です。

質問 これまでを総括し、次の方向性については。

答弁 子育て世帯への給付金事業や経済対策支援事業を実施しました。ワクチン接種事業も継続的に行い、市民の健康と命を守ります。

要望 市長、自分で考え答弁することが大切です。答弁書を見て答弁しないように。また、議員はしっかりと行政をチェックすること。



館林市のまちづくり ビジョンについて

小林 信 議員



1900回目の一般質問

質問 議員生活48年1900

回目、最後の一般質問は、これからの館林市のまちづくりビジョンについてであります。振り返ってみると大変いろいろなことがありました。議会もそうですが、館林市も大きく変貌を遂げております。変貌した館林

市のことを振り返りながら、これからのまちづくりについてお尋ねします。1月11日付の上毛新聞に市長のビジョンが掲載されておりまして、その中で、城下町の活用が「鍵」と述べております。中央通り線が拡幅されたことで、城下町のイメージはどこにあるのでし

ようか。また、大型商業施設を誘致するとありますが、過去において大型店が出店したことで、まちなかは空洞化されてしまいました。子育て支援として、高校生世代の入院費は無料となりましたが、通院費も含めて無料にする検討をされているのか。高齢者の問題でも強い要望がありますが、時間の関係で具体的には触れられません。48年間、職員の方には、無理難題も申しあげましたが、耳を傾

けていただきました。また、私を支えてくれた多くの皆さんに感謝し、常に「ありがとう」という感謝の気持ちは忘れません。ありがとうございました。

健康に留意され、ご活躍を

答弁 城下町を景観面で捉えると建造物はほとんどありません。しかし、館林城があった有形無形の文化財、復元した建造物などがあります。大型店の誘致は、外からの需要を地域内に引き入れることができます。

中心市街地の活性化は、民間団体と連携しイベントを実施して、社会実験も重ねながら、にぎわいを創出したいと考えています。子育て支援では、第一子、第二子の誕生日給付金と併せて、第三子には10万円を給付することにいたしました。施策を確実に実行することで「暮らしやすいまち館林」が見えてくるはずですので、小林議員におかれましては、健康に留意され今後ともご活躍をご期待申し上げます。

常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は、「館林市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」「館林市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」の議案2件で、採決の結果は、2議案とも全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市民福祉

健康推進課より、「オミクロン株対応ワクチン接種体制確保について」の報告がありました。
また、こども課より、「公立幼稚園認定こども園化事業について」の報告がありました。

経済建設

付託された案件は議案2件で、まず、「館林市手数

料条例の一部を改正する条例」については、採決の結果、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。「市道7205号線ほか5路線の路線廃止について」は、まず、当局からの説明を受け、路線の現地調査を行った後に審査を行い、採決の結果は、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。



市道7205号線ほか5路線の現地調査

議会傍聴者の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、傍聴に来られる皆さまにおかれましては、マスクの着用や傍聴席入口において、消毒液による手指の消毒など、感染防止対策にご協力をお願いいたします。

【12月定例会の予定】

- 12月 2日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 5日(月) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 6日(火)・7日(水) 本会議＝一般質問
- 8日(木)・9日(金) 委員会＝常任委員会（総務文教・市民福祉・経済建設）
- 15日(木) 本会議＝表決



☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。
☆一般質問の通告順位表は、11月30日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。
(<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒ ページ下部の市議会をクリックしてお入りください。)

本会議場の議席配置図



令和4年10月17日撮影

| | | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 13 権田 昌弘 | 14 斉藤 貢一 | 15 篠木 正明 | 16 吉野 高史 | 17 遠藤 重吉 | 18 野村 晴三 |
| 7 野本 泰生 | 8 田辺 純子 | 9 柴田 信 | 10 平井 玲子 | 11 川村 幸人 | 12 渋谷理津子 |
| 1 小林 但弥 | 2 池森のり子 | 3 飯島 一志 | 4 岡野 陽子 | 5 堀口きく枝 | 6 岩上 博志 |